

宮田 悠貴

ハープリサイタル

TRT Radio -3 "GENÇLERE"

日本人ハーピストとして初となる、トルコ国営放送クラシック番組・若者たちへの特集企画へ出演を記念して

日本で生まれ、フランス育まれ、世界に羽ばたく煌く音。
今宵春の訪れと共に癒しの世界をご一緒に。

プログラム

スメタナ：モルダウ

(連作交響詩「わが祖国」より第2曲)

モーツァルト：ピアノソナタ第12番

へ長調 K. 332 より第1楽章

グルック：精霊の踊り

(歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」より)

他

2.27²⁰²¹

(土)

17:00開演 (16:30 開場)

松本記念音楽迎賓館 Aホール

所在地：東京都世田谷区岡本 2-32-15

電話：03-3709-5951

URL：<http://ongakugeihinkan.jp>

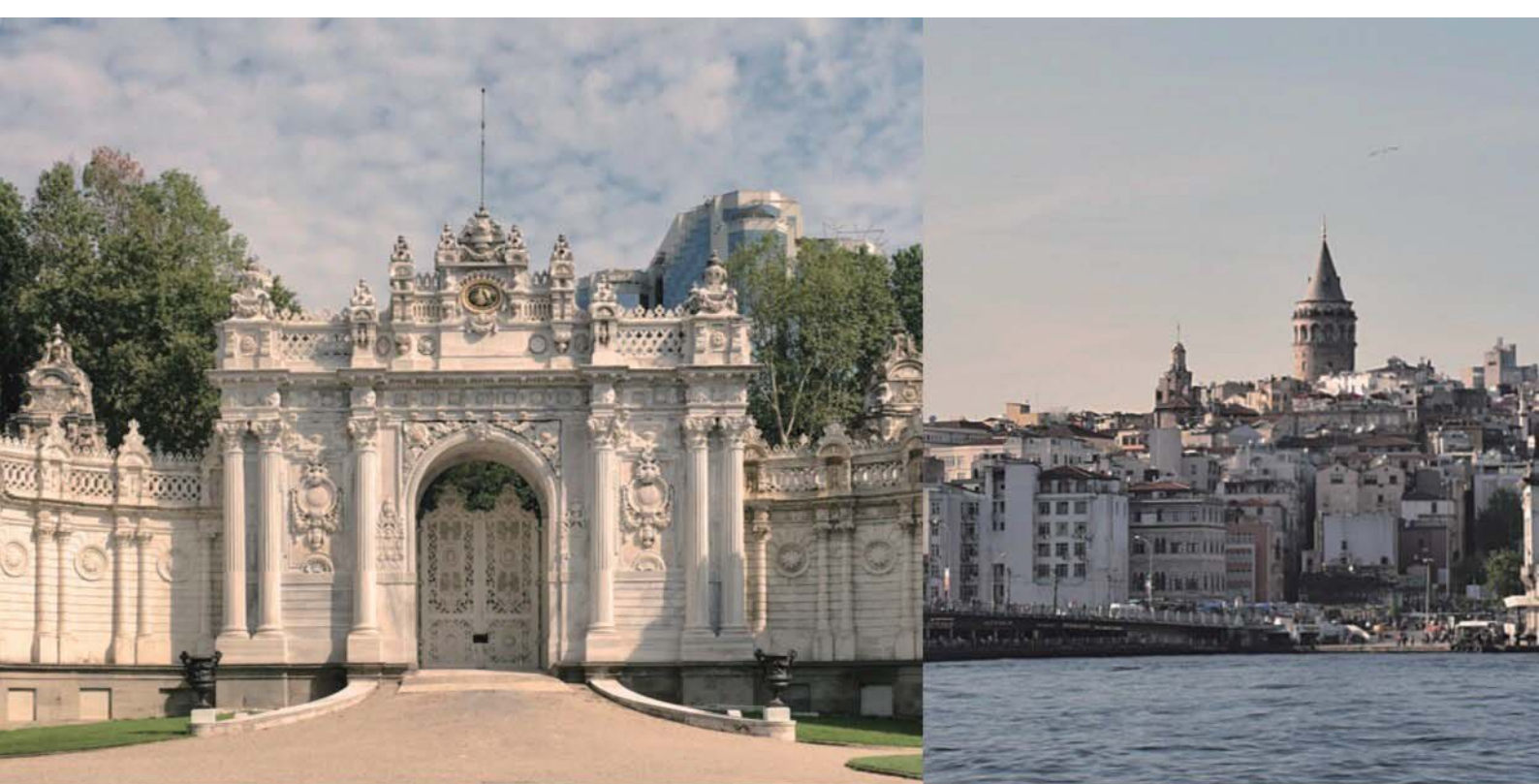
通常チケット 配信チケット

¥3,500 ¥2,000

チケットお求めは以下のメールアドレスより
yuki.harpe.genki0223@gmail.com

本公演では新型コロナ対策として、ソーシャル・ディスタンス確保の為
座席数の制限、入退場時の消毒、最低15分程度の喚起休憩を設けます。
ご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。





宮田悠貴 profile

5歳よりピアノを、6歳からアイリッシュ・ハープを、11歳からグランド・ハープを始める。

東京芸術大学音楽学部附属高等学校を経て、同大学音楽学部器楽科へ入学。

卒業後渡仏し、リヨン国立高等音楽院ハープ科へ首席で入学。2015年にフランス国家音楽家専門資格 (DNSPM -Diplôme national supérieur professionnel de musicien-) を取得し卒業。

同音楽院卒業後は、リヨン国立管弦楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニーオーケストラを始め、国内外のオーケストラ・室内楽団にて演奏活動を行い、現在はコンサート・ハーピストとして活動中。

第27回 ' World Music Competition ' プロフェッショナル・弦楽器部門にて日本人ハーピストとして初の最高位受賞。

同年ベルギー・ナショナルオーケストラ本拠地であるブリュッセルの「 Bozar ホール 」にて招待演奏を行う他、

オーストリア・イタリア・スウェーデン・日本等世界7カ国9つの国際コンクールにて入賞。内5つのコンクールにて上位入賞。

2020年9月「 Googleアメリカ 」を始め、他53社に記事が掲載される。

同年12月、トルコを拠点にご活躍の世界的琴奏者であり慈善活動家でもある 末富 敦子 氏よりインタビュー取材を受け、

月間約100万人以上に及ぶ読者を抱えるトルコの国際的音楽・文化雑誌である 「 Anadolu Life 」社にインタビュー記事を掲載される。

同年12月23日に「 トルコ国营放送 (TRT)・クラシック・チャンネル である

Radio-3 "GENÇLERE" / 若者たちへ」より自身のハープ・ソロ演奏での特集が生まれ、全世界に放送される。

国内外の作曲家からの楽曲提供、初演・楽曲収録依頼も多く、フランス人作曲家 Alexandre Dai Castaing 氏よりハープソロ楽曲を提供される。また同氏のニューアルバム ' A Tear is Dancing 'にてハープソロ曲にて録音参加。

イタリア人作曲家 Maurizio Bignone 氏の依頼により、氏のハープと弦楽の為の室内楽曲、' Dancing in Claud 'の日本初演を行う。

又、トルコ・アンカラフィル・オーナー・首席ハープ奏者 Cagatay Akiyol Balikesir 氏より自身のハープソロの為の楽曲・初版譜の贈与を受ける。

Sony BMGレコード所属、メジャーバンドとして第一線で活躍するインド人アーティストグループ「 Underground Authority 」と

ハープのコラボレーションCD「 Lately 」収録に参加など、国際的な活動も多く、これまでに自身のインタビュー記事が

グーグルアメリカ、読売新聞、Anadolu Life 社(トルコ)、茨城新聞他に掲載・特集される等国際的なハーピストとして活動の幅を広げている。

又、演奏会を通してのチャリティー活動にも意欲を注いでおり、これまでに作曲家でありユニセフ専属カメラマンである

Alexandre Dai Casting 氏と活動を共にし、日本赤十字社に演奏会の収益から寄付支援を行う。その後も、かものはしプロジェクト、

国連UNHCRにも定期的に支援等意欲的に活動が続けている。